

# 支援だより

茨城県立内原特別支援学校  
支援部

令和6年度 第2号 (12月発行)

## 8月1日CO研修・情報交換会を行いました。

茨城大学教育学部 教授 神永直美先生より「架け橋カリキュラムについて」の講話をいただきました。その後、幼保小・小中・中高で時間に分けてグループでの情報交換や講義内容についての協議を行いました。また本校の国語・算数数学、自立活動、体育などの教材や特別支援に関する図書や教科用図書の展示を行いました。地域の横のつながり、保幼小中高の縦のつながりと本校とのネットワーク構築となりました。

〈感想〉「情報交換では、個別の配慮が必要な子の対応どのようにしているかが分かり今後の参考になった。」「教材の実物を見て触れてよかったです。作ってみたいと思います。」



## 巡回相談

～職員研修の一部を紹介～

講師の先生【所属】(依頼先)

正保晴彦先生【茨城大学】(高等学校)  
「グループワークについて～10時間で授業が変わる～」の講義・実践を行い、様々な生徒に向けての伝え方や関係づくりについて研修しました。

〈感想〉「他者理解を生徒目線で体験でき、考えが広がりました。」  
書籍紹介「10時間の授業で学校が変わる！楽しく学べるグループワーク」著：正保春彦(金子書房)



菅野真吾先生【県立つくば特別支援学校】(中学校)

『教師の「困った！」お助けシート』の紹介と活用方法の説明をいただき、グループで事例検討を行いました。

〈感想〉「どうしてなのかと考えることで、支援方法が広がりました。」  
本校 HP 参照

<https://www.uchihara-sn.ibk.ed.jp/>

b7a7877fe277fc1c3b7d034fed04dba4/page\_20240617080230



本校職員(小学校)

「発達障害・長期欠席の児童に対する支援方法について」の多様な感性や個性に寄り添っての個々のニーズを把握することや支援方法の検討についての研修をしました。後半はグループ協議を行い、様々な様子の児童について共通理解を図りました。

【小学校ホームページ】

<https://www.magokoro.ed.jp/koto-buki-e/viewer/blog.html?id=1244>



片野晶子先生【㈱インクルーシブ教育研究所】(保育園)

「子どもの脳を育てる保育」をテーマに保育施設の職員向けに子どもたちへのかかわり方が脳に与える影響について研修を行いました。

〈感想〉「日常の保育が脳に沢山の刺激を与えていることを再認識できました。」  
書籍紹介「育てにくい子どもを伸ばす魔法の言葉かけ」著：片野晶子(アスコム)



金澤浩一郎先生【内原カウンセリングルーム】(小学校)

「発達障害・不登校の支援方法について」をテーマに教師がどのように関わればよいかについての研修を行いました。相談先の広がりや実態把握の視点について助言をいただきました。〈感想〉「児童の状況について考察して、今後の支援方法をさらに考えていきたいと思いました。」

書籍紹介「学級経営こそ、教師のやりがい～教師力は学級経営力～」共著：金澤浩一郎(日本文教出版)



米澤好史先生【和歌山大学】(幼稚園・保育所・こども園)

「愛着障害と発達障害の理解と支援」をテーマに保育施設の職員向けに子どもたちの見取りや関わり方について研修を行いました。発達障害と愛着障害の子どもの行動の違いや支援方法のあり方について助言を頂きました。

書籍紹介「特別支援と愛着の問題に生かすカウンセリング」編：諸富祥彦、曾山和彦、米澤好史(ぎょうせい)



## お知らせ

## 今後の活動予定について



2月14日(火) 通学区内特別支援コーディネーター研修・情報交換会

(通学区内幼児教育施設や小中高等学校の特別支援コーディネーターで研修等を行います。)

随時学校見学や巡回相談・諸相談を実施しております。

日程に余裕をもってお問い合わせください。 [uchishienhara@uchihara-sn.ibk.ed.jp](mailto:uchishienhara@uchihara-sn.ibk.ed.jp) (支援部 MAIL)